## 福島第一原子力発電所の20km以遠のモニタリング結果について

平成23年4月7日 13時00分現在 文 部 科 学 省

## 文部科学省が集計した結果

- \*1 GM(ガイガーミューラー計測管)における値
- \*2 電離箱における値
- \*3 Nal(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値 \*4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア 【1】 (約60km北西)	4月7日8時38分	1.5 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア 【2】 (約55km北西)	4月7日9時9分	3.1 *²	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア 【3】 (約45km北西)	4月7日10時17分	4.0 <sup>*2</sup>	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア 【4】 (約50km北西)	4月7日9時26分	1.1 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア 【5】 (約45km北)	4月7日10時56分	0.4 *2	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア [6] (約35km北)	4月7日11時17分	0.6 <sup>*2</sup>	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア 【7】 (約35km北)	4月7日11時34分	0.7 *2	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア【10】 (約40km北西)	4月7日9時41分	1.0 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【11】 (約40km北西)	4月7日9時50分	1.5 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【12】 (約40km西)	4月7日10時26分	0.3 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【13】 (約40km西)	4月7日10時36分	0.5 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【14】 (約35km西)	4月7日10時46分	0.2 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【15】 (約35km西)	4月7日11時4分	1.3 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【20】 (約45km北西)	4月7日10時13分	0.7 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【31】 (約30km西北西)	4月7日10時26分	11.4 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省

- \*1 GM(ガイガーミューラー計測管)における値 \*2 電離箱における値 \*3 Nal(ヨウ化ナトリウム)シンチレータにおける値 \*4 測定時間内における測定値の変動範囲

場所(福島第1発電所からの距離)	測定日時	数値(マイクロシーベルト/時) (記載のない限り屋外)	天候	実施者
測定エリア【32】 (約30km北西)	4月7日10時43分	27.8 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【33】 (約30km北西)	4月7日10時56分	19.5 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【36】 (約40km北西)	4月7日9時59分	4.1 <sup>*2</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【37】 (約50km北西 )	4月7日10時6分	4.7 <sup>*2</sup>	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア【39】 (約45km北)	4月7日10時39分	1.1 <sup>*2</sup>	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア【61】 (約40km北西)	4月7日10時7分	5.6 <sup>*3</sup>	降雨なし	文部科学省
測定エリア【62】 (約40km北西)	4月7日9時50分	6.3 *3	降雨なし	文部科学省
測定エリア [63] (約45km北西)	4月7日9時33分	2.5 *3	降雨なし	文部科学省
測定エリア【74】 (約35km南)	4月7日11時38分	0.3 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【75】 (約45km南)	4月7日10時53分	0.3 *2	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア【76】 (約20km南西)	4月7日11時39分	0.3 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア【79】 (約30km北西)	4月7日11時31分	14.8 *2	降雨なし	文部科学省
測定エリア [80] (約25km北)	4月7日11時56分	0.9 *2	降雨なし	日本原子力研究開発機構
測定エリア【84】 (約40km南西)	4月7日10時20分	0.5 *2	降雨なし	日本原子力研究開発機構



測定日時 4月7日 6時00分~12時00分

●測定箇所

単位:マイクロシーへ゛ルト毎日

円は範囲の概略を示す

屋内退避及び避難等に関する指標

予測線量(単位: μ Sv)		
	内部被ばくによる等価線	
	量	
	・ 放射性ヨウ素による小	
外部被ばくに	児甲状腺の等価線量	防護対策の内容
よる実効線量	・ ウランによる骨表面又	
	は肺の等価線量	
	<ul><li>プルトニウムによる骨</li></ul>	
	表面又は肺の等価線量	
10,000~	100,000~	住民は、自宅等の屋内へ退避する
50,000	500,000	こと。その際、窓等を閉め気密性に
		配慮すること。
		ただし、施設から直接放出される
		中性子線又はガンマ線の放出に対
		しては、指示があれば、コンクリー
		ト建家に退避するか、又は避難する
		こと。
50,000 以上	500,000以上	住民は、指示に従いコンクリート
		建家の屋内に退避するか、又は避難
		すること。

「原子力施設等の防災対策について」(昭和55年6月30日原子力安全委員会決定 (最終改訂 平成22年8月24日))より

